

私らしい動きかた

OSAKI

# SAPOSEN

第4号 2022.October

take free



特集

## 踏み出す、はじめの一歩!

自分自身もって



詳しい情報はこちら!

「NPOで高校生の夏ボラ体験」って?  
認定特定非営利活動法人「杜の伝言板ゆるる」(仙台市)が2003年より毎年開催している体験プログラム。将来、地域の担い手となる高校生が県内各地のNPO活動に参加し、その存在と意義を理解する「きっかけ」を作るため始められました。

この夏、大崎市民活動サポートセンターでは、「みんなが考えるアゲアゲなまちづくり」をテーマとし、5名の高校生ボランティアの受入れを行いました。  
「人のため、誰かのために動ける人になりたい」「学校の授業で地域課題の解決やボランティア活動に関わる機会があり興味をもった」「スクールバス登校だから、まちは車窓から見るだけ。学校の近くをもっと知りたかった」など、様々な想いで参加した高校生たち。彼女らの目には、このまちがどんなふう映ったのでしょうか。そして「市民活動」をどのように理解し、どんな「まちづくり」をイメージしたのでしょうか?

「まちづくり」をのぞいてみたら  
NPOで高校生の夏ボラ体験

しゅんしゅんのきもち 「自己啓発」・・・みずからの意思によって自分の能力を高め、心の成長を目指すこと。そして、チャレンジ!!(しゅんしゅん||佐々木俊一・センター長)

citizen project

## いま気になる「市民」プロジェクト

Q 現在の活動内容は?  
A 大崎市内のオフィス等にお願いし、コーヒーかすをフィルターごと容器にストックしてもらい、定期的に回収しています。種苗会社の方や、近隣の農家さんに声をかけをし、今後、この堆肥を使った試験栽培を進めていく予定です。ゆくゆくは、こうしてできた農産物を販売し、循環出



プラスチックフリーな洗剤、日用品、オーガニック食材のお買い物ができます。  
大崎市民活動サポートセンター  
営業時間:10時~15時(日・月・金)  
※営業日変更の場合があります。  
HPまたはInstagramをご確認ください。



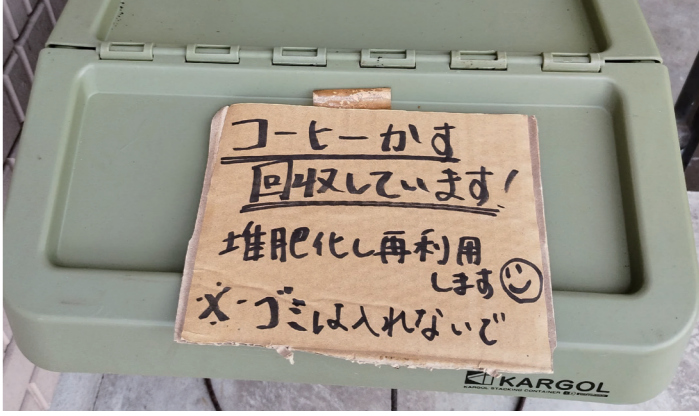
Q なぜコーヒーかすリ活用を始めたのですか?  
A 京都府で「Cafe+eco」という団体が、無料でコーヒーかすを回収・堆肥化し、農家や自家菜園、ガーデニングをされている方へ渡すという無償の活動をおこなっています。それをヒントに、私のお店を拠点とし活動したいと思いました。

Q 今後の展望は?  
A ご近所さんが気軽に利用できるコミュニティコンポストを設置したいです。遠方のお客様でも、お買い物ついでに入れていただいてもいいですね。みなさんでゴミについて考える場になったらと考えています。

Q みなさんに伝えたいことはありますか?  
A 当たり前ですが、プラスチック製品を使っていますが、どこから来て、どうなっていくのか想像してみてください。そして日々の生活の中でモノを大切にすることを大事にして、環境を考えるきっかけにしてほしいです。

Q 来る仕組みになれば、と思っています。  
A 今後の展望は?

お店の前に置かれた回収ボックス。蓋を開けると、穏やかなコーヒーの香り。



ゆむら商店 湯村 香子さん

2021年9月宮城県初の量り売り専門店「ゆむら商店」を大崎市民活動サポートセンターにオープン。CO2削減を目指し、オフィスや家庭から毎日出るコーヒーかすに注目。肥料化することで資源循環の糸口を模索中。

ゴミを少なくする生活って、未来を作る仕事なのかもしれない。



column  
しゅんしゅんの  
つぶやき

どうしたら話し合いがうまくいくのか、場をつくる人たちの悩みです。それは話し合い=決める会議が多いせいかもしれません。たまには決めない会議もあってよいのです。結論の出ない話は実は雑談のように楽しい。中高生を交えて話す「トーク・フォークダンス」という手法は、大人も笑顔に。参加した中高生が街で大人に話しかけている、そんな光景が生まれています。世代をつなぐ「話す場」を学校や地域につくっていきませんか。  
(しゅんしゅん=小玉順子・おおさき地域創造研究会事務局長)

staffs アナザースカイ

## 誰かの幸せを想い、願いをこめて動くジカン

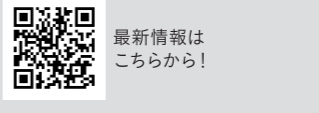
今年の夏、息子と「ハウルの動く城」を観ました。息子はハウルの変身姿に大興奮!私は、主人公が掃除婦として汚い城を片付けているシーンに感激!その時、最近始めた洗濯機に入る前の手洗いを思い出しました。保育園での泥遊びや食べこぼし汚れを落とすために始めたことが、アレ!?気持ちも洗濯物もスッキリ!!こんなに違う!?この手洗いが日課となった頃、私にも変化が。明日も友達・先生と楽しい時間を過ごしてほしい、そう願うように。さらには、これがきっかけで、家を居心地よい空間にする!と決意。気持ちの落ち込みやすい今、帰ってきたくなる、ホッとする...そんな場になることを信じて作ってきたリビングで、息子と観た映画でした。

(サボセンスタッフ・楓  
小さいころから、掃除が大嫌い。家の中を綺麗にしておくことがどんなに大切かをコロナで実感中。)



OSAKI SAPOSEN 第4号 2022.October  
発行企画 大崎市民活動サポートセンター  
編集デザイン オオサキノオト編集室

サポートセンターをご利用の方には、隣接するJA古川駅前駐車場の2時間無料サービス券を発行しています。  
〒989-6162  
大崎市民活動サポートセンター  
ふるさとプラザ2階  
TEL/0229-22-2915  
FAX/0229-22-9955  
E-mail npo@bz01.plala.or.jp  
開館時間:午前9時~午後9時  
休館日:毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)



## 大崎市民活動サポートセンター(サポセン)って?

- 「地域や暮らしの困りごとをなんとかしたい」「もっとよいまちにしたい」そんな市民のみなさんの想いを「カタチ」にするお手伝いをしています。お気軽にお問い合わせください。
- ◎場をつくります(話し合う場・講座等)
- ◎人と人をつなぎます(人と人・人と地域・団体と行政等)
- ◎相談できます(仲間づくり・NPO法人設立や解散等)
- ◎情報をお届けします(助成金、補助金情報・団体情報等)
- 会議室や書類保管庫などの施設もあります。活動に役立つ講座も随時開催中。最新情報はSNSをチェック!